

令和7年度第1回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影 CS 委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水 CS 委員会~中島委員、上出委員、梶委員、中村委員、小室委員、高委員、嘉藤委員、寺岡委員 欠席~長尾委員、勝田委員、堀委員、林委員

御影 CS 委員会~細田委員、口田委員、藤川委員、佐々木委員、門木委員、久野委員、大石委員、澤山委員、佐藤委員、天野委員、金山委員 欠席~上谷委員、

【教育委員会】山下教育長

【事務局】本田学校教育課長、安ヶ平社会教育課課長、渋谷社会教育課参事、太田同課参事、山川教育指導幹、大山教頭、村尾教頭、匂坂副園長、伊藤教頭、宮脇教頭、國木主幹教諭、吉田教諭、久朗津教諭、西教諭、上出 CS コーディネーター

2 場 所 清水町文化センター大集会室

3 日 時 令和7年4月16日(水)19時20分

しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議に引き続き開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

学校運営協議会(CS委員会)委員の任命

教育長より各 CS 委員会代表に交付し、その後、学校教育課職員より各委員に手交する

委員長及び副委員長の決定

委員会会則により本年度は両小学校 PTA 会長に委員長として決定

副委員長は委員長指名によることから、後日事務局へ報告を受けることを全体で了承

説明・協議事項

合同会議につき CS コーディネーターが議事進行

(1)コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について(事務局説明)

学校教育課長より学校運営協議会制度について説明

(2)各学校等の経営方針について(各学校等から説明)

第 1 回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議における説明をもって CS 委員会説明とする。

清水・御影のこども園長および小中学校長から本年度経営方針を『教育のデザイン「企画編」』を用い説明あり。

第 1 回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議において全体の承認を得たので委員会として承認されたこととすることを確認した。

(3)熟議

大集会室にて、清水 CS 委員会は 2 分散会、御影は 2 分散会で討議し、すべての班から発表を行う。

熟議・しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について

しみず「教育の四季」12 の窓のシートを参照し、社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取り組むべき事項について討議する。

清水 A 班

地域において清水と御影で行事が別々に行われているが、子どもたちにとって一緒に体験ができればよいと思う。少年団も別々だが、子どもも減ってきているので統合することにより親も子どもも交流ができる。

学校ではカリキュラムの関係もあり大変であろうが簡単なことから交流を始めてはどうか。こども園も交流は可能ではないか。中学校も小中一貫を進めているが、縦だけではなく横のつながりとして、例えばネイパルを活用し日程を合わせて交流はできないか。PTA で親子運動会を開き簡単な種目をやって交流を図ることも策であろう。

清水 B 班

1. あいさつは大事だということは子ども達もわかっており、最終的には自分からあいさつができる人になってもらいたい。家庭でも意識して、地域の方にも期間を設定して登下校時間をめがけてあいさつの協力を求めている。そしてあいさつする子をほめることにより言葉を交わすこととなる。
2. ネットとスマホの依存が心配だ。長いオフの期間を設けてはどうか。例えば 1 週間ストップしてみるなどすれば、子ども達も変わってくるのではないか。
3. 地域においてボランティアは無償だけではなく有償ボランティアを広げてはどうか。
4. こども園では高校との交流により作物を通じた交流が盛んにおこなわれている。小学校でも作物を育てて家に持って帰っている。12 の窓に作物を育てることも文言として加えてはどうか。

御影 A 班

春はあいさつを主に話し合われた。コロナもあり保護者間でも顔を知らない場合がある。学校では御影と清水の交流をもち知り合うことにより挨拶ができるようになるのではないかと。現在、食の生産工程を学ぶ取り組みが行われているが、地域としても参加することにより子ども達との交流が生まれるのではないかと。みんなで声かけをしてあいさつの輪を広げることが大切だ。

夏はスポーツを通じ家庭での一体感やこども園や学校で大人も参加して互いに応援する機会があればよい。

秋として毎月 19 日が読書の日であることを確認した。タブレットを活用した電子書籍を取り入れ、同じものを読むことも考えられる。

冬として、スマホについて話し合った。スマホを持ったら責任があり、そのガイドラインがあれば家庭内で使い方を伝えていくができる。

御影 B 班

家庭・学校・地域に通じることだが、やはりあいさつは大切であり、子どものあいさつをほめることにより、地域の人に知ってもらっているという意識ができる。

学校では例えばグラウンドのゴミ拾い・石拾いを生徒全員でやってはどうか。小中一貫を進めているが、清水・御影小学校どうしてスケートの授業などを一緒にやってはどうか。

地域としては、子どもたちに色んな考え方や答えがあることを子ども達には学んでほしいので、親ではない大人から叱られた経験も大事であろう。地域の人が教育の取り組みをどれだけ知っているかということから、LINE などを活用し、こまめに情報発信をしてほしい。

ユーチューブなどで動画を赤ちゃんの時から見ている子どもが目立ってきている。小学・中学生になったときに目が合わない、会話が少ない、語彙が少ないなどが現れてきており子ども達の生育に支障となる。そのことを啓蒙したほうが良いのではないかと。

また、CS 委員会として実施したらよい事業として、御影の保育所から中学校までの歩道にチョークで絵を描くことはできないか。良い思い出となるのでぜひ協力したい。

出された意見は、今後、事務局において検討のうえ一本化し全町的な取り組みとしていくことの下承を得る。

(4)その他

特になし

本田学校教育課長の閉会あいさつにより終了。

(20 時 28 分)